内閣総理大臣杯争奪 第41回日本車椅子バスケットボール選手権大会

個人トータル表

 1回戦
 2013年5月3日 16時00分開始

 東京体育館
 D - 2

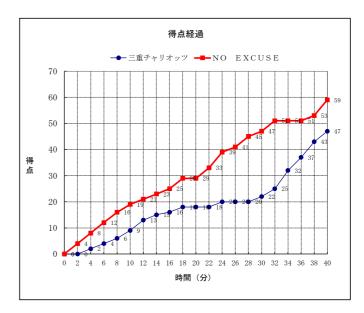
 三重チャリオッツ (東海北陸)
 47 (東海北陸)
 9 1/カォーダー 19 9 2/カォーダー 10 4 3/カォーダー 18 25 4/カォーダー 12
 59 NO EXCUSE (東 京)

番号	氏	名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番	舒	氏	名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 6	稲葉	潤一郎 (3.5)	5	0	2	1	1	-	2	*	4	安正	直樹 (4.0)	18	0	9	0	1	-	3
7	ЦΠ	幸伸 (3.5)	0	0	0	0	-	-	0	*	5	佐藤	大輔 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0
9	楠後	武文 (1.0)	0	0	0	0	1	-	0		6	石井	康二 (2.5)	10	0	5	0	1	-	2
* 11	三浦	文閣 (2.5)	23	4	4	3	-	-	1		7	寺田	正晴 (3.0)	4	0	2	0	-	-	2
* 12	奥田	智也 (4.0)	4	0	2	0	1	-	2		8	大嶋	義昭 (1.0)	0	0	0	0	1	-	1
* 14	伊藤	真大 (2.0)	10	0	5	0	1	-	0		9	大曽村	艮 佳太 (4.5) 2	0	1	0	1	-	3
* 15	須藤	慎也 (2.0)	5	0	2	1	-	-	1		10	菊池	隆朗 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
										*	11	森糸	紀之 (1.5)	6	0	3	0	1	-	2
										*	12	菅澤	隆雄 (4.5)	15	0	7	1	1	-	2
										*	13	湯浅	剛 (1.5)	2	0	1	0	1	-	0
											14	田仲	幸生 (1.5)	0	0	0	0	1	-	0
											15	田中	聖一 (2.0)	0	0	0	0	1	-	2
											18	西岡	尚輝 (1.0)	-	-	-	1	1	-	ı
											19	八木》	召 辰弥 (3.0) 0	0	0	0	-	-	0
ΗС	前田	浩司								Н	łС	及川	晋平							
АС	金谷	衣里子								Α	VС	中井	健豪							
マネーシ゛ャー	芝崎	静香								マネ-	ジャー	宮本	有里恵							
マネーシ゛ャー	小林	恭子								マネー	ジャー	杉山	美穂							
マネーシ゛ャー	荒木	由里子								マネー	ジャー	相川	恵里							
										<u> -</u>	レーナー	山下	正信							
	合	計	47	4	15	5	0	0	6			合	計	59	0	29	1	0	0	17

 主審:
 菅野 英輔

 副審:
 田畑 洋

 副審:
 加藤 雅夫



〔戦 評〕

(担当:仙座/二ノ宮/山)

1ST: NO EXCUSEのボールからスタート。NO EX#4のミドルシュートが安定して決まる。三重のオフェンスはアウトサイドのディフェンスに押され、自分たちの攻撃ができない。開始6分でタイムアウトを取り、流れを変えようとする。三重のミドルが決まらず、NO EXにリバウンドからの速攻が決まり、NO EXのペースで試合が続く。NO EX#4のシュートからファウルを奪い、フリースローも着実に決める。残り時間1分でNO EXのオールコートマンツー。三重はオフェンスの決め手がなく、NO EXの堅いディフェンスを破れず、NO EXのペースで試合が進み、<math>9-19 でNO EXのリードで終わる。

2ND: 三重ボールからのスタート。NO EXのセットプレーがさえ、#4のシュートが決まる。開始8分、NO EXのディフェンスがうまくいき、オフェンスでは#12のミドルシュートが目立つ。対する三重は、NO EXのDFに阻まれ、うまくセットプレーができない。NO EXは堅いディフェンスからリバウンドを取り、得点を重ねる。対する三重は、インサイドに入れず、なかなか得点につなげることができない。18-29で終了。

3RD: NO EXボールでスタート。開始早々、#4と#9の連続インサイドシュートが決まる。流れを変えたい三重は開始4分でタイムアウトを取る。開始5分、NO EXのオールコートマンツーが始まった。三重は自分たちのプレーができず、得点を取ることができない。じわじわと点差が離され、22-47で終了。

4TH: 三重ボールからスタート。三重#11の3Pからスタートするも、直後NO EXも決め返す。ここで、NO EXはハイポインター陣を下げ、ローポインター陣をコートに出すが、パスミスなどが増え、リズムが崩れる。三重の#11の3Pが連続して決まる。NO EXは得点がなかなか決まらず、流れが止まる。そこで開始7分、メンバー全員を変更。そこから、NO EXのオールコートマンツーが始まる。三重も得点を重ね競い合うが、最後は47-59で試合終了。